

NHO フェローシップ プログラム申請書

1. 研修プログラム名：呼吸器内科フェローシップ プログラム
病院名：名古屋医療センター

2. 診療科：呼吸器内科

3. コースの概要

留学期間中、呼吸器内科で、呼吸器疾患、特に呼吸器インターベンション症例を経験する。

4. 目標

呼吸器疾患の診断に必要な基礎的知識、検査法、また、重症度に応じた治療法を修得することを目的とする。呼吸器疾患は、腫瘍、炎症、アレルギー疾患など、広く内科全般に渡る臨床力の取得を目標とする。

呼吸器疾患、特に呼吸器インターベンションの処置を要する患者の総合的、診断・治療法の策定と実施を習得する。

5. 取得手技

軟性気管支鏡

超音波気管支鏡ナビゲーション法を用いた診断

クライオプローブを用いた組織採取

硬性気管支鏡による中枢気道の治療

局所麻酔下胸腔鏡、経皮的気管切開術

EWS (Endoscopic Watanabe Spigot)留置術

6. 研修期間：6か月

7. 募集人数：2名

8. 診療科の実績

主要疾患	入院数（年間）
肺がん	400
肺炎	170
気管支喘息	40
肺気腫	60
間質性肺炎	80

9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 8名

主として研修指導にあたる責任医師 沖 昌英（経験年数31年）

10. コンセプト

当科で取り扱う疾患は肺がん、肺炎、呼吸不全、間質性肺炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、胸膜炎など多岐に渉る。これらの内、特に、呼吸器悪性腫瘍の化学療法を中心とした集学的治療と、中枢気道の内視鏡的治療を中心に、高度な呼吸器インターベンションの技術を磨いており、その成果をこのプログラム参加の研修生に習得してもらいたい。

11. その他（研修関連情報など）

研修教育プログラム（週2回）

臨床カンファレンス（週7回）

週間予定

	月	火	水	木	金
午前	抄読会		医長回診	透視下気管支鏡	
午後			RST 回診	内視鏡手術	
	非透視下気管支鏡	→	→	→	→
夕方	X線カンファレンス	→	→	→	→
	入院カンファレンス				
	合同カンファレンス（呼吸器外科，放射線治療科）		入退院カンファレンス		